

# 「科学雑誌で学ぶ日本語」作文練習 8

木下大輔

2021 年 11 月 03 日

## 1 第一問

「そのため、問題を切り分けて解く方法や、ルートやスケジュールを少しずつ改良しながら少しでもいいものを求める方法など、近似解を求める解法の研究が盛んに行われている。」という文がありました。「…ながら…」を含む文を作りなさい。

## 2 第二問

「関数の最も大きな次数が 3、つまり  $O(n^3)$  の場合は、現在の標準的なコンピューターでは 1 万個くらいのデータしかあつかえないが、次数が 2 の  $O(n^2)$  になると、100 万個まであつかえるといったイメージだ。」という文がありました。「…しか…ない…」を含む文を作りなさい。

## 3 第三問

「このため、組み合わせを一つずつ調べる方法だと、計算時間は指数時間になる。」という文がありました。「…一つずつ…」を含む文を作りなさい。

## 4 第四問

「指数時間と多項式時間の間には天と地ほどの差が生じる。」という文がありました。「…天と地ほど…」を含む文を作りなさい。

## 5 第五問

「ソートのやり方次第で計算量に大きな差」という文がありました。「…次第で…」を含む文を作りなさい。